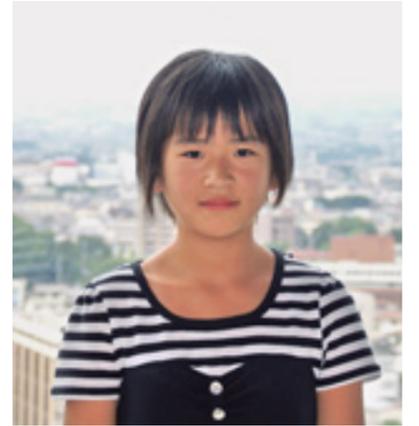


いきいき
まえばし人



県よい歯のコンクール標語の部最優秀賞
岩崎 彩さん・11歳
元総社町

好き嫌いをなくしてよい歯に

7月2日、県よい歯のコンクール標語の部で最優秀賞に選ばれた。受賞作は「元気な子 無いよ むし歯と好ききらい」。

「受賞を聞いたときはびっくりしました。また、うれしかったです。小4から歯の矯正をし、歯磨きには気を付けていました。母からは好き嫌いをしないようにと言われていたので、そんなことを考えながら標語にしました」

現在、元総社南小の6年。好きな教科は、音楽と体育。ピアノが得意で、音楽では合唱コンクールや校歌の伴奏も。体育では水泳、特に平泳ぎが得意と話す。

「ここの夏休みは、水泳と鼓笛の練習がびっしり。頑張ります」夏休みに入ってから、運動会や

前橋まつりなどに向けて鼓笛隊の猛練習中。指揮者として隊全体をまとめる。どうしても指揮者をしたかったと立候補し選ばれた。物静かな中にも強い意志を秘めている。

「何事も好きだから続けられるし、頑張れます」

普段はピアノや書道、英語などの習い事で忙しく、あまり遊ぶ時間もないという。6歳から習っている書道では群馬教育書道展での入賞も。また、ファッションにも興味があるという二面ものぞかせる。

「子どもが好きだから、将来は保育士になりたい。そのためにもピアノは続けていきたいです」

小学生最後の夏、白い歯を輝かせて、楽しい思い出を作りながら元気にいっぱい成長してほしい。

いにしえ
万華鏡
その五

問い合わせは 文化財保護課 ☎2361-9531

本市になくて本市所在だった

国重要文化財 土偶

土偶とは、縄文時代に作られた人形で、女性をかたどった物。豊作や子孫の繁栄を願った呪術具といわれています。

今回紹介する土偶は本市所在だった物。全長30センチ程で、縄文時代後期に作られました。大きな鼻と丸い目、ハート形の顔、胸には乳房と妊娠線が表現され、肩の張った細い腕と太くがっしりした足が特徴的です。顔の特徴からハート形土偶と呼ばれ、人間の顔の輪郭を最も一般化して表現したものと

いわれています。昭和40年5月29



土偶の復元作品（八木孝男さん作）

日付で国の重要文化財に指定。以後現在まで、東京国立博物館（東京都台東区）に寄託・展示されています。今から20年前頃までは歴史の教科書に必ずといっていいほど登場した大変有名な土偶で、昭和56年7月には90円切手の題材として取り上げられました。

実はこの土偶、本市からの出土品ではなく、吾妻郡東吾妻町の郷原遺跡から出土した物です。昭和16年にJR吾妻線郷原駅周辺の道路工事で偶然発見。昭和29年に、当時県文化財専門委員だった故山崎義男さんにより紹介され、日の目を見ることとなりました。この土偶の所有者が本市在住であったため、以来東京に預けられていたが、本市に所在する重要文化財となっていたのです。

その後、所有者が転居。残念なことには現在は本市所在の重要文化財ではなくなってしまうようですが、東京国立博物館でいつでも見ることが出来ます。

クローズアップ

きらびやかに七夕まつり

7月9日から12日まで、中心市街地などで前橋七夕まつりを開催しました。ことしで59回目となる夏の風物詩。各通りでは美しい飾り付けや多彩なイベントが行われ、家族連れや友人同士でにぎわいました。また、11日には社会を明るくする運動のパレードが実施され、犯罪のない明るい社会づくりを七夕まつりに訪れた人たちへ呼びかけました。

